
生命の灯

かみなせ しゅら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

生命の灯

【Nコード】

N5120Y

【作者名】

かみなせ しゅら

【あらすじ】

自傷、最近悲しいね。清潔にしよう。

(前書き)

これは癖だから治らないんだ

激しい赤光は熱い痛みと同時に暗がりの抱擁となり
暗い部屋に、ただ一つの生命の灯を^{あかし}顕そう

確かなものに。

その高望みが紡ぎ出した紫の糸が編み出したAuroraは余りにも
暁の女神は 余りにも儚く

訪れへの切望は叶わない

その微光すらも夜風に吹き消され
理由を奪われた粒子の迷霧に
僕は困惑してしまう

かつての生命の痕には
微塵の骸が残るだけ

骸は眇たり指でふれれば解け
慈愛の残た柔らかさと微かな熱はそれでも
かつての生命の存在を証す

骸は潔く

余りにも無垢なまま
解けるまま

無情の僕が解くままに
琥珀色の瓶の底へ積もってゆく

僕を認めてくれた灯の
ただ一つの灯の
無垢な骸はただ潔く
健気な証しとして 底へ
無慈悲の底へ。

あ、ごめんなさい

(いつも笑ってしまうね)

僕は忘れた

健気な骸を既に忘れ
代わりに皮膚の隙間から生々しい赤光が新たに永久^{とわ}の灯を！

その灯は暗がりを照らさずにますます俯いて影をつくり
僕に甘美な味わいと永久の熱をもたらす…

灯は全ての高望みを叶える代わりに
僕の全てを忘れさせる

全てを忘れさせる！

僕の全てを！

嫌？

いいえ。忘れさせてくれるのです。無造作にちかい

（時を刻む音…）

（無造作に終い）

（f a d e o u t . . .）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5120y/>

生命の灯

2011年11月17日20時54分発行